

# せんだいメディアテーク年報 (2015 年度)

## はじめに

2015年度は、前年に引き続き来館者数、施設利用率ともに高い水準で推移し、多くのみなさまにご利用いただくことができました。また「考えるテーブル」や「どこコレ？—おしえてください昭和の仙台」、2階ライブラリーでの「シネバトル—わたしのイチ押し映画（シネ）はコレよ！」など、近年特に力を入れてきた人々の語り合いや交流の場としてのさまざまな事業も、すっかり定着した感があります。

企画事業では、展覧会「物語のかたち—現在（いま）に映し出す、あったること」を開催するとともに、8号目となる機関誌『ミルフィユ』を同テーマにより発刊しました。この企画は、東北の民話の探訪活動を続ける市民活動団体「みやぎ民話の会『民話 声の図書室』プロジェクトチーム」と当館が協働して実施してきた民話の記録を題材に、現代のアーティストの表現を通じてその今日的な意味を捉え直す試みとなりました。また、館長がホストを務めるトーク「鷺田清一とともに考える」や、さまざまな手法による市民グループとの協働プロジェクトなどにも、1年を通して多くの参加をいただきました。

情報サービス事業では、地域のさまざまな文化活動のアーカイブとその活用を目指して取り組んできた「smt コレクション」のDVD公開が203タイトルに達するなど、内容の充実が進み、「震災の記録・市民協働アーカイブ」として実施してきた「3がつ11にちをわすれないためにセンター」（わすれん！）事業についても、学校の防災教育と連携して資料の活用を図ったほか、被災地を定点観測した写真の展示や上映会の開催など、引き続き震災の記録の継承に取り組んできました。

さらに本年度は、当館を拠点としたこれからのアート事業や人材育成事業の方向性について検討した年でもありました。館長を座長にアドバイザーを迎えてセッションを重ねるなかで、市内外のさまざまな立場の方々から、今後の活動に対する示唆や激励などをいただくことができました。

未曾有の大震災から5年、復興の途上にある東北・仙台市の芸術・文化、生涯学習の一翼を担う施設として、私共が果たすべき役割は何か、常に試行錯誤し挑戦する姿勢をもって、これからも新たな取り組みを進めてまいりたいと思います。本年報が当館の一年を振り返り、進むべき方向性をみなさまとともに考える一助となれば幸いです。

## 目次

### 1. 施設の概要

- 1-1. 施設
- 1-2. 沿革
- 1-3. 組織
- 1-4. 収支
- 1-5. 施設使用実績

### 2. 企画事業

- 2-1. 対話の可能性
- 2-2. 対話の場づくり協働事業
- 2-3. 発信・施設活用推進事業
- 2-4. その他事業（自主財源事業ほか）

### 3. 受託事業

- 3-1. 3がつ11にちをわすれないためにセンター
- 3-2. アート事業・人材育成事業調査

### 4. 情報サービス事業

- 4-1. 映像音響ライブラリー
- 4-2. 教材ライブラリー
- 4-3. 視聴覚障害者情報ライブラリー（バリアフリー・ライブラリー）
- 4-4. 地域映像ライブラリー
- 4-5. デジタルアーカイブ事業
- 4-6. メディア活用推進事業（活動支援事業）

### 5. 配布・刊行物等

- 5-1. 書籍や報告書等の印刷物
- 5-2. DVDメディア等の映像音響資料
- 5-3. 紙やインターネットを通じた定期発行等
- 5-4. その他常備している印刷物

## 1. 施設の概要

1. 施設の概要 > 1-1. 施設、1-2. 沿革、1-3. 組織

### 1-1. 施設

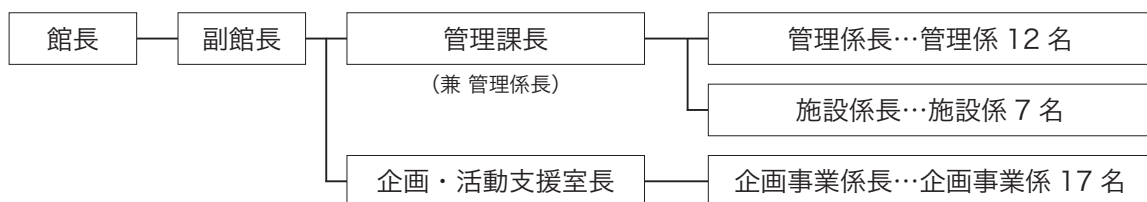
- 所在地 仙台市青葉区春日町2番1号  
 開館時間 9:00-22:00（階により異なる）  
 敷地面積 3,949㎡  
 構造 鉄筋造一部鉄筋コンクリート造地下2階地上7階建  
 延床面積 21,682㎡  
 主な施設内容  
 地下2階 書庫、収蔵庫、機械室  
 地下1階 駐車場、書庫  
 1階プラザ（定禅寺通に開かれた屋内型公開空地、オープンスクエア、カフェ、ショップ）  
 2階ライブラリー（映像音響資料、児童書、新着新聞雑誌等の閲覧）  
 3・4階ライブラリー（仙台市民図書館）  
 5階ギャラリー3300（固定壁面を中心とする天井高3,300mmの展示空間）  
 6階ギャラリー4200（可動壁面で自由に構成できる天井高4,200mmの展示空間）  
 7階スタジオ（施設貸出・相談窓口、スタジオシアター、各種スタジオ）

### 1-2. 沿革

- 平成元年（1989年） 宮城県芸術協会が大型ギャラリーを中心とした美術館建設の要望書提出。  
 平成4年（1992年） 定禅寺通に図書館を併設した市民ギャラリーを建設する方針が定まる。  
 平成6年（1994年） 市民ギャラリー、図書館、映像メディアセンター、視聴覚障害者のための情報提供施設の機能を併せ持つ芸術文化施設とすることが決まる。  
 平成7年（1995年） 設計競技により、伊東豊雄建築設計事務所が選ばれる。  
 平成9年（1997年） 12月着工。平成12年（2000年）8月竣工。  
 平成13年（2001年） 1月26日開館。仙台ひと・まち交流財団が管理（図書館は仙台市直営）。グッドデザイン大賞受賞。  
 平成16年（2004年） 仙台ひと・まち交流財団を指定管理者として指定。  
 平成19年（2007年） 業務移管により、仙台市市民文化事業団を指定管理者に指定。  
 平成20年（2008年） 館内フロアレイアウトを一部変更。  
 平成23年（2011年） 地域創造大賞受賞。東日本大震災により休館。5月3日から一部再開し、翌年1月27日に全館再開。

### 1-3. 組織

所管 仙台市教育委員会生涯学習部生涯学習課  
 指定管理者 公益財団法人仙台市市民文化事業団（図書館は仙台市直営）



（42名 平成27年4月時点）

1. 施設の概要 > 1-4. 収支、1-5. 施設使用実績

**1-4. 収支**

(1) 収入の部

指定管理料 546,296 千円  
 事業収入（企画事業、受託事業を含む） 48,926 千円  
 《内訳》  
 ・補助金 14,217 千円  
 ・各種助成金 9,200 千円  
 ・入場料等 590 千円  
 ・受託事業収入 20,373 千円  
 ・仙台市市民文化事業団自主財源 954 千円  
 ・負担金収入 3,592 千円

(2) 支出の部

管理運営費（施設の維持管理、情報サービス事業を含む） 546,296 千円  
 事業費（企画事業、受託事業を含む） 48,926 千円

**1-5. 施設使用実績**

(1) 施設使用実績

施設	貸出単位	利用日数	日数ベース利用率	利用者数
5 階ギャラリー	週	47*	97.9%	144,289
6 階ギャラリー	週	49*	96.1%	148,441
オープンスクエア	日	263	78.3%	82,740
スタジオシアター	1日3区分	206	59.7%	22,292
2 階会議室	1日3区分	325	93.9%	6,113
7 階会議室	1日3区分	340	97.7%	11,667
プラザ控室 a	1日3区分	196	56.3%	1,246
プラザ控室 b	1日3区分	238	68.4%	2,383
託児室	1日3区分	19	5.5%	101

使用料等徴収額 76,354 千円

\*5/6 階ギャラリーは週数ベース

(2) 視察等の対応

視察 110 件  
 報道（新聞・雑誌）：77 件

(3) その他

博物館実習の受け入れ：6 名  
 （東北生活文化大学、宮城学院女子大学、東北芸術工科大学、武蔵野美術大学、宮城教育大学）

## 2. 企画事業

メディアを活用した生涯学習活動および文化活動にかかる、展示・上映・ワークショップ等。

### 2-1. 対話の可能性

「考えるテーブル」と名付けた場でさまざまな対話を醸成しながら、アレゴリー（寓意）として多様な表現を投げかけ（コール）、参加者がそれに対するリアクションを表現（レスポンス）、新たな参加に向けた問いの連鎖を生むための事業を実施。

#### 《対話のための発信事業》

2. 企画事業 > 2-1. 対話の可能性 > 《対話のための発信事業》

##### (1) 物語りのかたち—現在に映し出す、あったること

会期：2015年10月31日-2016年1月10日  
 会場：6f ギャラリー 4200  
 入場・参加者数：3,536名  
 入場料等：一般 300円 高校生以下無料（豊齢カード、障害者手帳をお持ちの方は半額）  
 共催等：みやぎ民話の会（協力）、一般財団法人 地域創造（助成）、公益財団法人 花王芸術・科学財団（助成）  
 ウェブサイト：  
<http://www.smt.jp/projects/monogatari/>

当館がみやぎ民話の会「民話 声の図書室」プロジェクトチームと協働で行ってきた東北の民話の記録活動をもとに、いがらしみきお氏、山本高之氏、田村友一郎氏の3名の作家が、美術や漫画などそれぞれの表現手法に基づいて、現代において民話とはなにかを捉え直し、表現しました。



##### (2) 「物語りのかたち」展ギャラリーツアー（「物語りのかたち」関連企画）

会期：2015年11月8日、21日、12月6日（全3回）  
 会場：6f ギャラリー 4200  
 入場・参加者数：のべ14名  
 入場料等：無料（展覧会入場料に含む）  
 共催等：（展覧会に同じ）  
 ウェブサイト：（展覧会に同じ）

担当学芸員や、出展作家の一人である漫画家のいがらしみきお氏、また、同氏の展示ディレクターのクマガイコウキ氏によるツアーを行いました。



##### (3) 『未来の東北博覧会』をつくって、展示しよう！（「物語りのかたち」関連企画）

会期：2015年8月3日-8月6日、9月19-20日、9月22日-23日（全3回）  
 会場：1f オープンスクエア等  
 入場・参加者数：のべ60名  
 入場料等：無料  
 共催等：（展覧会に同じ）  
 ウェブサイト：（展覧会に同じ）

同展にさきがけ、参加作家の山本高之氏とともに小中学生らが、1987年当時に仙台市港地区で開催された「未来の東北博覧会」を題材にして、そのマスコットやポスター、パビリオンの模型などを作りました（ねんどで「コケット君」をつくろう／「未来の東北博覧会」の大きなポスターをつくろう）。また、それらの作品は展覧会で展示されました。



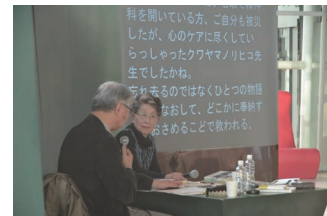
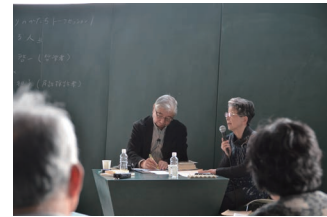


2. 企画事業 > 2-1. 対話の可能性 > 《対話のための発信事業》

**(4) トークセッション1 野家啓一 × 小野和子 『物語る人』**（「物語りのかたち」関連企画）

会期：2015年11月22日  
 会場：6f ギャラリー 4200 ホワイエ  
 入場・参加者数：67名  
 入場料等：無料（展覧会入場料を含む）  
 共催等：（展覧会に同じ）  
 ウェブサイト：（展覧会に同じ）

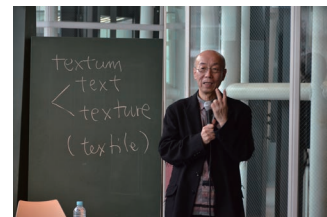
同展の関連企画として、『物語の哲学』（岩波書店／岩波現代文庫）の著者で哲学者の野家啓一氏と、みやぎ民話の会の設立者（現顧問）で民話採訪者の小野和子氏によるトークを行いました。



**(5) トークセッション2 鷲田清一との対話 『言葉について思うこと』**（「物語りのかたち」関連企画）

会期：2015年11月29日  
 会場：6f ギャラリー 4200 ホワイエ  
 入場・参加者数：63名  
 入場料等：無料（展覧会入場料を含む）  
 共催等：（展覧会に同じ）  
 ウェブサイト：（展覧会に同じ）

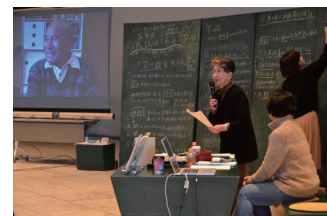
哲学者で当館館長の鷲田清一が、「言葉」と「語り」について、会場に集まった参加者と語り合いました。



**(6) 考えるテーブル 民話ゆうわ座 『笠地蔵』**（「物語りのかたち」関連企画）

会期：2015年12月27日  
 会場：1f オープンスクエア  
 入場・参加者数：165名  
 入場料等：無料  
 共催等：みやぎ民話の会「民話 声の図書室」プロジェクトチーム（共催）、一般財団法人 地域創造（助成）  
 ウェブサイト：  
<http://table.smt.jp/>

展覧会「物語りのかたち」にあわせ、古くから親しまれてきた日本の民話「笠地蔵」を通して、先祖はなにを伝えようとし、なにを託そうとしたのか、さまざまな「笠地蔵」を聞き比べるとともに、参加者と一緒に話し合いました。



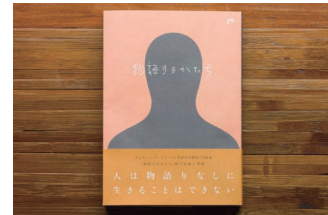
## 《スタジオ情報発信》

2. 企画事業 > 2-1. 対話の可能性 > 《スタジオ情報発信》

### （1）機関誌『ミルフィユ 08』（書籍）

発行：せんだいメディアテーク  
 発売：grambooks  
 価格：1,800 円＋税

当館の機関誌として、さまざまなイメージやメッセージや人々が層をなして重なり合う活動をその名に託した書籍。第8号は、展覧会「物語のかたち」の記録物として同展の展示写真や解説だけではなく、物語りとは何かという問いに迫る論考で構成されています。



### （2）定めた点から観て測る（ラウンジ交流展示）

会期：2015年3月25日-5月6日、7月4日-9月17日、2016年3月9日-5月5日（全3回）  
 会場：7f ラウンジ  
 入場・参加者数：-  
 入場料等：無料  
 共催等：NPO 法人 20 世紀アーカイブ仙台、NPO 法人 創る村、越後谷出、高橋親夫、NPO 法人 都市デザインワークス、工藤寛之、「オモイデピ=ス」製作プロジェクトほか（協力）、一般財団法人 地域創造（助成）  
 ウェブサイト：  
<http://recorder311.smt.jp/tag/fixed-point-observation/>

3.11 定点観測写真アーカイブ・プロジェクトの一環として、震災前と震災後のふたつの視点を軸に、個人やグループで記録した写真を展示するシリーズ。今年度は3期にわたり、仙台市内ほか、名取、多賀城、石巻、女川、気仙沼、陸前高田などを紹介しました。



### （3）どこコレ？—おしえてください昭和のセンダイ（ラウンジ交流展示）

会期：2015年4月29日-5月6日、5月7日-6月28日（全2回）  
 会場：1f オープンスクエア、7f ラウンジ  
 入場・参加者数：-  
 入場料等：無料  
 共催等：NPO 法人 20 世紀アーカイブ仙台（共催）、一般財団法人 地域創造（助成）  
 ウェブサイト：<http://www.smt.jp/projects/doko/>

2012 年度から続いているプロジェクト。仙台のどこかではあるけれども詳細がわからない古い写真を展示し、来場者の記憶や証言をもとに、それら写真の場所や年代を明らかにしました。





2. 企画事業 > 2-1. 対話の可能性 > 《スタジオ情報発信》

**(4) 「くろい音楽室」展 レコードレコード** (ラウンジ交流展示)

会期: 2015年9月26日-10月24日  
 会場: 7f ラウンジ  
 入場・参加者数: -  
 入場料等: 無料  
 共催等: 宮城アナログ文化協会(共催)、  
 一般財団法人 地域創造(助成)、株式  
 会社プレスアート(協力)、ブラックカル  
 チャー研究会(協力)、うぶごえプロジェ  
 クト(協力)  
 ウェブサイト:  
<http://www.smt.jp/projects/kuroi/>

2012年度から考えるテーブルのひとつとして行われてきた「くろい音楽室」の報告展示と、協働者の宮城アナログ文化協会が集めた仙台のクラブにまつわる記録を展示しました。



**(5) 空白を訪ねる -そこで出会ったことば-** (ラウンジ交流展示)

会期: 2015年12月19日-2016年2月28日  
 会場: 7f ラウンジ  
 入場・参加者数: -  
 入場料等: 無料  
 共催等: 小森はるか+瀬尾夏美(共催)、  
 一般社団法人 NOOK(協力)、一般財団  
 法人 地域創造(助成)  
 ウェブサイト:  
<http://recorder311.smt.jp/information/>

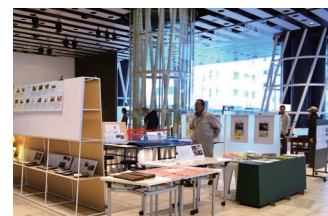
「3がつ11にちをわすれないためにセンター」参加者で、東日本大震災後にボランティア活動で沿岸部を訪れ、2012年4月には岩手県気仙郡住田町へ移住、陸前高田市を中心に移り変わる風景や人びとのことばの記録を続けている小森はるか氏と画家で作家の瀬尾夏美氏の活動を展示しました。



**(6) 「星空と路」資料室**

会期: 2016年3月9日-12日  
 会場: 1f オープンスクエア  
 入場・参加者数: 1,370名  
 入場料等: 無料  
 共催等: 一般財団法人 地域創造(助成)  
 ウェブサイト:  
<http://recorder311.smt.jp/information/49847/>

東日本大震災から5年目をむかえる時期にあわせ、「3がつ11にちをわすれないためにセンター」にこれまで寄せられた写真等の記録を1階オープンスクエアで展示しました。



## 2-2. 対話の場づくり協働事業

市民の交流・対話を促すための場や、それらによる新たな地域の文化財のアーカイブの取り組み。

### 《スタジオ協働事業》

2. 企画事業 > 2-2. 対話の場づくり協働事業 > 《スタジオ協働事業》

#### (1) 考えるテーブル てつがくカフェ

**会期:**2015年5月17日、8月2日、10月4日、12月13日、2月20日、3月13日(全6回)  
**会場:**7f スタジオa、1f オープンスクエア、6f ギャラリー 4200 ホワイエ  
**入場・参加者数:**のべ246名  
**入場料等:**無料  
**共催等:**てつがくカフェ@せんだい(共催)、一般財団法人 地域創造(助成)  
**ウェブサイト:**  
<http://table.smt.jp/?p=4097>

2011年度から継続し、5年目を迎えた事業。震災にまつわるテーマを掲げ、それをもとに参加者同士で対話を行いました。  
 《今年度のテーマ》

- ・〈これから〉の問いを考える
- ・〈未来〉とは何か？
- ・〈忘れる〉を問い直す
- ・物語り～いま、〈象（かたど）る〉営みを問いなおす
- ・トモダチって？
- ・時を問う



#### (2) 考えるテーブル シネマてつがくカフェ「映像作品『波のした、土のうえ』から考える」

**会期:**2016年2月28日  
**会場:**7f スタジオa  
**入場・参加者数:**55名  
**入場料等:**無料  
**共催等:**てつがくカフェ@せんだい(共催)、一般財団法人 地域創造(助成)  
**ウェブサイト:**  
<http://table.smt.jp/?p=4097>

てつがくカフェの一環として、陸前高田の人々の半生と風景の変化を描写した映像作品『波のした、土のうえ』（作：小森はるか+瀬尾夏美）をもとに、参加者同士で対話を行いました。



#### (3) 考えるテーブル U-18 てつがくカフェ

**会期:**2015年12月5日  
**会場:**7f スタジオa  
**入場・参加者数:**9名  
**入場料等:**無料  
**共催等:**てつがくカフェ@せんだい(共催)、一般財団法人 地域創造(助成)  
**ウェブサイト:**  
<http://table.smt.jp/?p=4097>

てつがくカフェの一環として、中学生・高校生を対象に「〈未来〉とは何か？」をテーマに対話を行いました。



2. 企画事業 > 2-2. 対話の場づくり協働事業 > 《スタジオ協働事業》

**(4) 考えるテーブル どこコレ? -おしえてください昭和のセンダイ**

会期: 2015年6月27日  
 会場: 7f スタジオ a  
 入場・参加者数: 47名  
 入場料等: 無料  
 共催等: NPO 法人 20世紀アーカイブ仙台(共催)、一般財団法人 地域創造(助成)  
 ウェブサイト:  
<http://table.smt.jp/?p=12368>

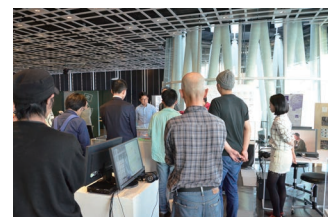
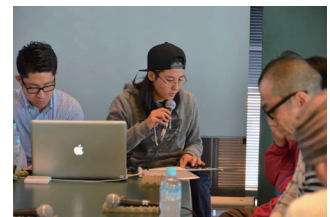
仙台的どこかではあるけれども詳細がわからない古い写真を展示し、来場者の声やメモをもとに写真の情報を調べていく展示「どこコレ?」。2015年4月29日から6月28日に開催された第4回目にあわせ、期間中にいただいた情報をもとに明らかになったことを参加者と一緒に話し合いました。



**(5) 考えるテーブル くりい音楽室「センダイクラブアーカイブーこれまでとこれからー」**

会期: 2015年10月18日  
 会場: 7f スタジオ a  
 入場・参加者数: 26名  
 入場料等: 無料  
 共催等: みやぎアナログ文化協会(共催)、一般財団法人 地域創造(助成)、株式会社プレスアート(協力)、ブラックカルチャー研究会(協力)、うぶごえプロジェクト(協力)  
 ウェブサイト:  
<http://table.smt.jp/?p=12438>

9月26日から10月24日に開催した『くりい音楽室』展「レコードレコード」にあわせ、宮城アナログ文化協会が集めた仙台のクラブにまつわるさまざまな記録をもとに、参加者と一緒に話し合いました。



**(6) 考えるテーブル 民話ゆうわ座『笠地藏』**

再掲 (P.7 参照)

### (7) 考えるテーブル 3.11 キヲクのキロク 公開サロン

会期：2016年3月12日  
 会場：1f オープンスクエア  
 入場・参加者数：66名  
 入場料等：無料  
 共催等：NPO 法人 20世紀アーカイブ仙台（共催）、一般財団法人 地域創造（助成）  
 ウェブサイト：  
<http://series/record-of-memory/>

『3.11 定点観測アーカイブ・プロジェクト』『ケータイで撮った3.11はありませんか？』『3月12日はじまりのごはん』など、東日本大震災についての市民の記憶を記録する「3.11 キヲクのキロク」プロジェクトについて語らう場。「3.11以前の記録から3.11以後を考える」「3月12日はじまりのごはん」をテーマに、震災の記録やその活動のあり方について考えました。



### (8) 考えるテーブル 草アーカイブ会議「アーカイブは誰のもの？」

会期：2016年3月12日  
 会場：1f オープンスクエア  
 入場・参加者数：100名  
 入場料等：無料  
 共催等：一般財団法人 地域創造（助成）  
 ウェブサイト：  
<http://table.smt.jp/?p=12954>

東日本大震災からこれまでに試行錯誤してきた活動を振り返りつつ、アーカイブ活動における記録・収集・整理・利活用の各場面で、専門家だけでなく、その地域に住むさまざまな立場の方々が一緒に関わりながら、記録物を育てているような活動について考えました。



#### 《話題提供者》

松本篤（NPO 法人 記録と表現とメディアのための組織）  
 笠原一人（京都工芸繊維大学）  
 田中洋史（長岡市立中央図書館文書資料室）  
 佐藤正実（NPO 法人 20世紀アーカイブ仙台）  
 北野央（せんだいメディアテーク）

#### 《コーディネーター》

佐藤知久（京都文教大学）

#### 《グラフィックファシリテーション》

近田真美子（てつがくカフェ@せんだい）



## 《地域文化アーカイブ》

2. 企画事業 > 2-2. 対話の場づくり協働事業 > 《地域文化アーカイブ》

### (1) ことりTV

仙台 CATV で放送する番組「ことりTV」のディレクターとして、団体4グループ、個人6名が仙台の人や出来事を紹介する番組づくりに取り組みました。制作番組数15本。

ウェブサイト：<http://www.smt.jp/projects/kotori/>



### (2) 民話 声の図書室

2012年度から引き続き、みやぎ民話の会「民話 声の図書室」プロジェクトチームとの協働により、みやぎ民話の会が45年にわたって記録してきた、宮城県を中心とする民話語りの映像・音声の資料化、また、あらたな記録活動を進めるとともに、今年度、その成果を展覧会事業等を通じて活用しました。（詳細は P.6-7 参照）



ウェブサイト：<http://www.smt.jp/projects/minwa/>

### (3) どこコレーおしえてください昭和のセンダイ

2012年度から引き続き、NPO 法人 20 世紀アーカイブ仙台との協働により、詳細が不明だった仙台の古い写真のアーカイブに取り組みました。その実践として、ラウンジ交流展示や考えるテーブルを行いました。（詳細は P.8、P.11 参照）



ウェブサイト：<http://www.smt.jp/projects/doko/>

## 《バリアフリーデザイン》

2. 企画事業 > 2-2. 対話の場づくり協働事業 > 《バリアフリーデザイン》

### (1) バリアフリー上映『そして父になる』

会期：2015年5月31日  
 会場：7f スタジオシアター  
 入場・参加者数：のべ308名（2回上映）  
 入場料等：無料  
 共催等：－  
 ウェブサイト：  
<http://www.smt.jp/barrierfree/cinema/>

ボランティアの制作により、目の不自由な方が楽しめる音声解説、耳の不自由な方が楽しめる日本語字幕、また、託児サービスを併せた上映を行いました。上映作品：『そして父になる』（監督：是枝裕和／2013年）



### (2) バリアフリー上映『大停電の夜に』

会期：2015年11月29日  
 会場：7f スタジオシアター  
 入場・参加者数：のべ75名（2回上映）  
 入場料等：500円  
 共催等：－  
 ウェブサイト：  
<http://www.smt.jp/barrierfree/cinema/>

ボランティアの制作により、目の不自由な方が楽しめる音声解説、耳の不自由な方が楽しめる日本語字幕、また、託児サービスを併せた上映を行いました。上映作品：『大停電の夜に』（監督：源孝志／2005年）



### (3) 触れる文化としての点字

会期：2015年6月20日  
 会場：7f スタジオシアター  
 入場・参加者数：71名  
 入場料等：無料  
 共催等：平成27年度日本郵便年賀寄附金助成事業  
 ウェブサイト：  
<http://www.smt.jp/archive/event/10130287.html>

宮城教育大学教授で視覚障害学を専門とする長尾博氏を講師に迎え、街や生活のなかにある点字案内について実例を紹介しながら、点字文化の普及と課題について参加者とともに考えました。





2. 企画事業＞ 2-2. 対話の場づくり協働事業＞ 《バリアフリーデザイン》

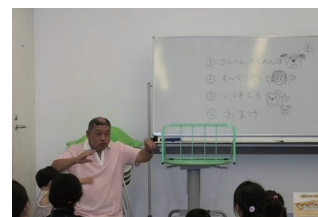
---

**(4) 手ではなすおはなしの会**

---

会期：2015年8月8日  
会場：7f 会議室 a  
入場・参加者数：13名  
入場料等：無料  
共催等：仙台市民図書館（共催）  
ウェブサイト：-

手話による読み聞かせをしているボランティアグループ「まほうの手」のみなさんが話し手になり、手話による絵本や児童書の読み聞かせを行いました。



## 2-3. 発信・施設活用推進事業

各種団体との協働や連携により、当館を活用。

2. 企画事業 > 2-3. 発信・施設活用推進事業

### (1) 鷲田清一とともに考える

会期：2015年8月8日、12月22日  
 (全2回)  
 会場：1f オープンスクエア  
 入場・参加者数：215名、312名  
 入場料等：無料  
 共催等：-  
 ウェブサイト：  
<http://www.smt.jp/projects/washidadirector/>

2014年度に続き、当館館長で哲学者の鷲田清一が、各分野のプロフェッショナルと語り合うシリーズ。  
 ・第4回「界面活性力？／見るべきものを見ずに、見ないでいいものを見る」  
 ゲスト：伊達伸明（美術家）  
 ・第5回「ファッション／世の中にはもっと魔法が必要です。」  
 ゲスト：山縣良和氏（ファッションデザイナー）



### (2) 街の本、街と本、街は本 (Book! Book! Sendai 2015 企画)

会期：2015年6月13日  
 会場：1f オープンスクエア  
 入場・参加者数：1,492名  
 入場料等：無料  
 共催等：Book! Book! Sendai (共催)  
 ウェブサイト：  
<http://bookbooksendai.com/>

「6月の仙台は本の月」をキャッチフレーズに行われている Book! Book! Sendai (B!B!S) の一企画として、1階オープンスクエアをブックカフェに見立て、B!B!S にゆかりある 10名の選者による本の展示やトーク「街を本のように読む、そして…」を行いました。



### (3) ショートピース！仙台短篇映画祭 2015

会期：015年9月20日-9月22日  
 会場：7f スタジオシアター、1f オープンスクエア  
 入場・参加者数：2,473名  
 入場料等：前売券＝全日フリーパス(30枚限定) 4,000円、3プログラム券(100組限定) 2,500円、当日券＝1プログラム券 1,000円、小学生以下、豊齢・障害者手帳等をお持ちの方 800円  
 共催等：仙台短篇映画祭実行委員会(共催)  
 ウェブサイト：  
<http://www.shortpiece.com>

今回で 15 回目を迎えた、市民有志の実行委員会を中心とした映画祭。国内外の短篇映画の上映を中心に、「新しい才能に出会う」と題した公募作品の特集、バリアフリー上映のほか、仙台の高校生たちが制作した作品を取り上げるなどしたほか、監督、出演者ら、ゲストを招いてのトークや交流会などを行いました。



#### (4) せんだいデザインリーグ 2016 卒業設計日本一決定戦

会期：2016年3月6日-13日  
 会場：1f オープンスクエア、5f ギャラリー  
 3300、6f ギャラリー 4200、7f スタジ  
 オシアター、7f スタジオ a、スタジオ b  
 入場・参加者数：3,768名  
 入場料等：無料  
 共催等：仙台建築都市学生会議（共催）  
 ウェブサイト：  
<http://gakuseikaigi.com/nihon1/16/>

建築を学ぶ全国の学生たちの卒業設計を公募・審査し日本一を決定する大会。14回目を迎えた今回は「境界を解く」をテーマに、500点に及ぶ出展作の展示、審査員長に西沢立衛氏を迎えての公開審査を行いました。



#### (5) としょかん・メディアテーク フェスティバル

会期：2016年2月20日-21日  
 会場：1f オープンスクエアほか  
 入場・参加者数：1,971名  
 入場料等：無料  
 共催等：仙台市民図書館（共催）  
 ウェブサイト：  
<http://www.smt.jp/toplus/>

市民図書館とメディアテークが共催し、多様な読書体験の紹介や、映像資料の上映、トークイベント、読み聞かせなど、子どもから大人まで参加できるさまざまなプログラムを行いました。



#### (6) スクエア図書館

会期：2015年7月7日-9日、8月25日  
 -26日(全2回)  
 会場：1f オープンスクエア  
 入場・参加者数：のべ1,530名  
 入場料等：無料  
 共催等：仙台市民図書館（共催）  
 ウェブサイト：  
<http://www.smt.jp/toplus/>

1階オープンスクエアで不定期に実施する図書展示。7月は「あのころの街角/タウン誌で読む街」をテーマに、市民図書館が所蔵する地元タウン誌の全バックナンバーを展示、また、8月には「スクエア図書館 with ちびパーク」と題して、西公園プレーパークの会とともに開きました。



### （7）定禅寺通りイベント共催事業等

ストリートに開かれた場として、定禅寺通りを中心に開催されているイベントと連携・協力しました。

#### a) 仙台・青葉まつり協賛会との連携

今回で31回目となる「仙台・青葉まつり」にあわせ、2015年5月16-17日に1階オープンスクエアにて、青葉まつりの歴史紹介や、すずめ踊りの参加祭連の紹介、および、演舞披露を行いました。



#### b) とっておきの音楽祭実行委員会 SENDAI との連携

「みんなちがって、みんないい」を合言葉に、障がいのある人もない人も一緒に音楽を楽しみ、「心のバリアフリー」を目指す「とっておきの音楽祭」にあわせ、1階オープンスクエアを会場としたイベントを行いました。

##### ・スペシャルライブ

（2015年4月19日／1階オープンスクエア／来場者数：458名）

##### ・本祭開催時の会場

（2015年6月7日／1階オープンスクエア／来場者数：1320名）



#### c) 定禅寺ストリートジャズフェスティバル実行委員会との連携

今回で25回目を迎える「定禅寺ストリートジャズフェスティバル in 仙台」にあわせ、メディアテーク・ステージを開設したほか、12月にはその記録写真展示を行いました。

##### ・交流ライブの会場

（2015年7月19日-20日／1階オープンスクエア／来場者：1,014名）

##### ・本祭開催時の会場

（2015年9月11日-13日／1階オープンスクエア／来場者：10,022名）

##### ・写真展

（2015年12月14日-26日／7階スタジオ a／来場者：195名）





## 2-4. その他事業（自主財源事業ほか）

指定管理業務に加え、各種機関との共催や、仙台市市民文化事業団の自主財源による事業。

2. 企画事業 > 2-4. その他事業（自主財源事業ほか）

### （1）シネバトル わたしのイチ押し映画（シネ）はコレよ！

会期：2015年6月23日、8月25日、10月27日、2016年2月21日（全4回）  
 会場：2f 映像音響ライブラリー、1f オープンスクエア  
 入場・参加者数：のべ139名  
 入場料等：無料  
 共催等：－  
 ウェブサイト：  
<http://www.smt.jp/projects/cinebattle/>

毎回、登壇者それぞれが3分間で紹介する映画から、参加者の投票により一番見たい映画を決める本事業。さらに、2月の「としょかん・メディアテークフェスティバル」にて今年度（第8回から10回まで）の金賞・銀賞受賞者によるグランドチャンピオン大会も行いました。



### （2）シネバトル わたしのイチ押し映画（シネ）はコレよ！ チャンピオン上映会

会期：2015年8月2日  
 会場：7f スタジオシアター  
 入場・参加者数：149名  
 入場料等：無料  
 共催等：－  
 ウェブサイト：  
<http://www.smt.jp/projects/cinebattle/>

3分の制限時間で映画を紹介しあい、参加者が一番見なくなった作品を投票で決める「シネバトル」。その2014年度、2015年度それぞれのグランドチャンピオンが推薦する映画『僕らのミライへ逆回転』（監督：ミシェル・ゴンドリー／2008年）と、『ロシュフォールの恋人たち』（監督：ジャック・ドゥミ／1967年）を上映しました。



### （3）活版印刷ミニ工房

会期：2015年10月26日～11月28日  
 会場：7f ラウンジ  
 入場・参加者数：－  
 入場料等：無料  
 共催等：活版印刷研究会（共催）  
 ウェブサイト：  
<http://www.smt.jp/projects/kappan/>

当館で所蔵する活版印刷の活字や道具、手フット印刷機を展示し、活字で組んだ版と印刷物を紹介しました。



2. 企画事業 > 2-4. その他事業（自主財源事業ほか）

**(4) 活版印刷ワークショップ**

会期：2015年10月25日、11月29日  
 (全2回)  
 会場：7f ラウンジ  
 入場・参加者数：のべ24名  
 入場料等：無料  
 共催等：活版印刷研究会（共催）  
 ウェブサイト：  
<http://www.smt.jp/projects/kappan/>

活版印刷ミニ工房の展示に併せ、ワークショップを開催しました。活版印刷で使われていた道具や、当時の職人の様子について話を聞きながら、活字で自分の名前などを印刷しました。



**(5) SMMA 仙台・宮城ミュージアムアライアンス**

仙台を中心とした博物館施設の共同事業体（2015年度15施設）の事務局を担ったほか、2015年12月18日-19日には、1階オープンスクエアに参加館が一堂に会し、専門家によるトークや体験講座などを行う「ミュージアムユニバース-すてき・ふしぎ・おもしろい-」を実施しました（入場者数：2,586名／主催：SMMA）。

ウェブサイト：<http://www.smma.jp>





### 3. 受託事業

仙台市より受託した事業。

#### 3-1. 3がつ11にちをわすれないためにセンター（震災復興アーカイブ事業）

2011年度から継続して、市民、専門家らとの協働により、東日本大震災に関する写真・映像・音声を、記録・発信。

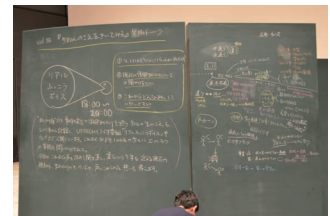
3. 受託事業 > 3-1. 3がつ11にちをわすれないためにセンター

##### (1) わすれんTV311 リアルふっこうボイス

会期：2015年7月2日、8月24日、  
12月25日、2016年3月9日（全4回）  
会場：7f プロジェクトルーム  
入場・参加者数：108名（のべ視聴者数）  
入場料等：無料  
共催等：まちづくり部（主催）、3がつ11  
にちをわすれないためにセンター（主催）  
ウェブサイト：  
[http://recorder311.smt.jp/series/  
realvoice](http://recorder311.smt.jp/series/realvoice)

東日本大震災からの復興・まちづくりに携わるさまざまな人の想いを名  
の声で記録・配信を4回行いまし  
た（初年度から数えて、第35回か  
ら第38回）。

- ・第35回 石巻のこえ 第5
- ・第36回 名取のこえ 第5
- ・第37回 気仙沼のこえ 第5
- ・第38回 『5ねんのこえを聞いてみる』 カウンタートーク



##### (2) 「こえシネマ」～映像で話す場所～

会期：2015年7月26日、11月15日  
（全2回）  
会場：7f プロジェクトルーム  
入場・参加者数：のべ18名  
入場料等：無料  
共催等：-  
ウェブサイト：  
[http://recorder311.smt.jp/series/  
koecinema](http://recorder311.smt.jp/series/koecinema)

震災の記録や映画を上映し、被災地  
と呼ばれる場所で映像を見ることや  
撮ることについての語り合いを行  
いました（初年度から数えて、第13  
回、第14回）

- ・第13回 上映作品「生きられる家」シリーズ
- ・第14回 上映作品「山元町の記録」「地鎮」



##### (3) 「星空と路」上映室

会期：2016年2月27日-2月28日  
会場：7f スタジオシアター  
入場・参加者数：300名  
入場料等：無料  
共催等：3がつ11にちをわすれないた  
めにセンター参加者（協働）  
ウェブサイト：  
[http://recorder311.smt.jp/  
information/48942/](http://recorder311.smt.jp/information/48942/)

「3がつ11にちをわすれないた  
めにセンター」を通じて記録された映  
像作品、全15プログラムを上映し  
ました。



3. 受託事業> 3-1. 3がつ11にちをわすれないためにセンター

---

#### (4) わすれん！DVDの制作・発行

---

「連作 閑上録 アーカイブシリーズ」5タイトルを制作・発行し、映像音響ライブラリー等で提供しました。



---

#### (5) 定めた点から観て測る (ラウンジ交流展示)

---

再掲 (P.8 参照)

---

#### (6) 「星空と路」資料室

---

再掲 (P.9 参照)

---

#### (7) 空白を訪ねる ―そこで出会ったことば― (ラウンジ交流展示)

---

再掲 (P.9 参照)

---

#### (8) 考えるテーブル 3.11 キヲクのキロク 公開サロン

---

再掲 (P.12 参照)

---

#### (9) 考えるテーブル 草アーカイブ会議「アーカイブは誰のもの？」

---

再掲 (P.12 参照)

### 3-2. アート事業・人材育成事業調査

文化・芸術活動の創造性により若い世代の活力を引き出し、まちの新たな魅力を作り出すことで、仙台及び東北の復興を図ることを目的として、当館を核とした人材育成事業と国際的・先進的なアート事業の実施に向けた調査・検討を実施。

3. 受託事業 > 3-3. アート事業・人材育成事業調査

#### (1) セッション

会期：2015年5月16日、6月13日、  
8月7日、8月25日、10月24日、  
11月28日  
会場：7F スタジオ等  
入場・参加者数：-  
入場料等：無料  
共催等：  
ウェブサイト：  
<http://www.smt.jp/projects/ar/>

館長の鷲田清一を座長とし、アドバイザーに藤浩志氏（美術家／秋田公立美術大学教授）、帆足亜紀氏（ヨコハマトリエンナーレ プロジェクト・マネージャー）、住友文彦氏（アーツ前橋館長）を迎え、6回にわたり議論しました。



#### (2) シンポジウム「メディアテークから考えるこれからのアート」

会期：2016年1月3日  
会場：1f オープンスクエア  
入場・参加者数：217名  
入場料等：無料  
共催等：  
ウェブサイト：  
<http://www.smt.jp/projects/ar/>

一年にわたる検討のまとめとして、セッションでのアドバイザーに加え、ゲストに北川フラム氏（アートディレクター）、やなぎみわ氏（美術家）を迎え、ファシリテーター・本江正茂氏（東北大学大学院工学研究科准教授）の進行のもと、会場に集まった方々もまじえ話し合いました。



## 4. 情報サービス事業

各種ライブラリーでの資料提供や情報メディア活用の支援。

4. 情報サービス事業> 4-1. 映像音響ライブラリー、4-2. 教材ライブラリー、  
4-3. 視聴覚障害者情報ライブラリー（バリアフリー・ライブラリー）、4-4. 地域映像ライブラリー

---

### 4-1. 映像音響ライブラリー

資料点数 12,309 点

貸出点数 71,454 点

新規登録数 550 名

### 4-2. 教材ライブラリー

資料点数 4,467 点

資料貸出点数 391 点

機材貸出点数 598 点

### 4-3. 視聴覚障害者情報ライブラリー（バリアフリー・ライブラリー）

資料点数 5,922 点

貸出件数 2,801 件

対面朗読件数 223 件

音訳・点訳件数 11 件

音声読み上げパソコン利用件数 3 件

音訳所蔵資料制作件数 16 タイトル

（利用者依頼 6 件、メディアテーク登録所蔵資料 10 件）

点訳所蔵資料制作件数 41 タイトル

（利用者依頼 5 件、視覚障害者情報ネットワーク「サピエ」登録 36 件）

### 4-4. 地域映像ライブラリー

資料点数 16 点

## 4-5. デジタルアーカイブ事業

4. 情報サービス事業 > 4-5. デジタルアーカイブ事業

---

### **(1) アーカイブ作成活動事業（smt コレクション）**

---

主催事業の記録映像、スタジオを拠点とした市民グループ等との協働による映像、そして、「3がつ11にちをわすれないためにセンター」の活動を通じて制作された東日本大震災にまつわる映像をDVDパッケージにし（68タイトル）、映像音響ライブラリー及び教材ライブラリーで公開したほか、報道・研究や、ライブラリー利用登録者以外の方の閲覧、上映会等のための貸出も行いました。

---

### **(2) そのほかのアーカイブ事業（過去年度に構築したアーカイブの運用）**

---

仙台市内の公共施設による市民活動のチラシを流通する「仙台に情報の背骨を通すプロジェクト」に寄せられたチラシの電子化（<http://smt.jp/honepuro/>）や、ミュージアムと地域人材が連携したアーカイブ「レコーダ」（<http://recorda.jp/>）の運用を行いました。

## 4-6. メディア活用推進事業（活動支援事業）

4. 情報サービス事業 > 4-6. メディア活用推進事業（活動支援事業）

### （1）学校連携事業

子どもたちが映像表現を学ぶプログラムを実施したほか、これまでの取り組みをまとめた報告書『映像を読み書きするちから—映像制作をつうじた学びのステップ—』を発行しました。



- ・「コマ撮りアニメーション制作」：仙台市教育研究会図画工作部会と連携した教員向け研修ほか、小中学校14校への機材貸出（参加した児童生徒1012名）
- ・「木町のたから」：木町通小学校6年生による映像制作、および、教材ライブラリーでのDVD公開
- ・「木町の3.11」：木町通小学校5・6年生による震災アーカイブ活動の支援

### （2）音声パソコンステップアップ講座

<p>会期：2015年7月25日-7月26日、 2016年2月27日-28日（全2回） 会場：2f 会議室 入場・参加者数：のべ19名 入場料等：無料 共催等：仙台市視覚障害者福祉協会（共催） ウェブサイト：-</p>	<p>目の不自由な方を対象として、Microsoft Word や音声ブラウザ（ネットリーダーII）など、音声パソコンの操作等を学ぶ講習を行いました。</p>
---	---

### （3）音声パソコン操作補助ボランティア養成講座

<p>会期：2015年9月26日-9月27日 会場：2f 会議室 入場・参加者数：2名 入場料等：無料 共催等：仙台市視覚障害者福祉協会（共催） ウェブサイト：-</p>	<p>目の不自由な方が利用する音声パソコンの操作をサポートするボランティア人材を養成しました。</p>
---	---



4. 情報サービス事業 > 4-6. メディア活用推進事業（活動支援事業）

---

#### （4）音声パソコン入門講座

---

会期:2015年11月14日、15日、21日、  
22日  
会場:7f 会議室 b  
入場・参加者数:のべ15名  
入場料等:無料  
共催等:仙台市視覚障害者福祉協会(共催)  
ウェブサイト:-

目の不自由な方を対象として、音声パソコンの基本的な操作を学ぶ講習を行いました。



---

#### （5）点訳ボランティアステップアップ研修会

---

会期:2015年7月28日、29日、8月  
25日、26日  
会場:7f スタジオb  
入場・参加者数:24名  
入場料等:無料  
共催等:平成27年度日本郵便年賀寄附  
金助成事業  
ウェブサイト:-

点訳ボランティアとして活動している方を対象として、実技を通じて点訳の技術の向上を図るための研修を行いました。



---

## （7）メディアスタディーズ

---

公募により選ばれたプロジェクトの方々との協働により、7階スタジオを拠点とし、地域の歴史や文化をデジタル・アーカイブとして残していく活動やそのための企画・編集作業など、メディアを使った創作と実践に取り組みました。

### 《プロジェクトと協働者》

- ・ くらい音楽室（宮城アナログ文化協会）
- ・ ヤングファーマー農宴—おらとあんだとくいもんと—（宮城県農村青少年クラブ連絡協議会）
- ・ おほはしア라운드（地域探検隊-TTT-）
- ・ 舞踏ノ筆筒（舞踏ノ筆筒）
- ・ みやぎシネマクラドル（みやぎシネマクラドル）
- ・ 仙台前衛藝術の足跡を巡る（仙台ダダ外部調査委員会）
- ・ クィアカルチャー研究会（クィアカルチャー研究会）
- ・ 知る 続く 在来作物プロジェクト（みやぎ在来作物研究会）
- ・ プロジェクションせんだい（プロジェクションせんだい）
- ・ 活版印刷工房（活版印刷研究会）
- ・ みやぎ人形劇人名鑑（相沢由介）

## 5. 配布・刊行物等

今年度、当館で制作し、配布・刊行した冊子や映像音響資料、通信等。

5. 配布・刊行物等> 5-1. 書籍や報告書等の印刷物、5-2. DVDメディア等の映像音響資料、5-3. 紙やインターネットを通じた定期発行等、5-4. その他常備している印刷物

---

### 5-1. 書籍や報告書等の印刷物

『ミルフイユ 08』（書籍）

『映像を読み書きするちから—映像制作をつうじた学びのステップ—』（報告書）

『Diary』（フリーペーパー／2015年6-7月号、特別号）

### 5-2. DVDメディア等の映像音響資料

smt コレクション DVD（68 タイトル）

《内訳》

- ・メディアテーク事業記録（58 タイトル）
- ・協働による制作物（5 タイトル）
- ・3 がつ 11 にちをわすれないためにセンター資料（5 タイトル）

音訳資料（16 タイトル）

点訳資料（41 タイトル）

### 5-3. 紙やインターネットを通じた定期発行等

『館内の催し』（印刷物／毎月）

『けやき通り通信』（印刷物／隔月）

『教材ライブラリーだより』（印刷物／隔月／PDF版をウェブサイトで公開）

『せんだいメディアテーク・メールニュース』（メール配信／毎月／登録者 2,259 名）

ウェブサイト（アクセス総数 739,718 件）

### 5-4. その他常備している印刷物

総合案内（日本語版／英語版／フランス語版／中国語版／韓国語版）

総合案内（目や耳の不自由なかたへ）

総合案内（車椅子アクセス）

貸出施設利用案内

